

平成29年度第1回小牧市障害者自立支援協議会議事録

1 開催日時 平成29年4月28日(金) 午後2時～3時30分

2 開催場所 小牧市ふれあいセンター 3階大会議室

3 出席者(委員13名のうち、12名出席)

(会長)	相山女学園大学 准教授	手嶋 雅史
(副会長)	小牧市社会福祉協議会会長	稲垣 喜久治
(出席した委員)	小牧市身体障害者福祉協会会長	谷 幸男
	小牧市手をつなぐ育成会会長	石原 多加子
	民生委員・児童委員連絡協議会会長	吉田 友仁
	社会福祉法人あいち清光会	
	サンフレンド施設長	川崎 純夫
	社会福祉法人アザレア福祉会	
	理事長	北澤 論
	小牧市医師会代表	越後谷 雅代
	愛知県春日井保健所 課長補佐	角田 玉青
	愛知県立小牧特別支援学校校長	鵜野 裕志
	春日井公共職業安定所	
	専門援助部門統括職業指導官	川島 さとみ
	小牧市健康福祉部長寿・障がい福祉課長	山本 格史
(欠席した委員)	社会福祉法人大和社会福祉事業振興会	
	ハートランド小牧の杜施設長	清水 龍司
(オブザーバー)	尾張北部圏域地域アドバイザー	綱川 克宣
(事務局)	小牧市健康福祉部長寿・障がい福祉課 小牧市社会福祉協議会ふれあい総合相談支援センター	
(同席)	就労支援連絡会代表 本庄授産所	伊藤 茂
	日中活動系連絡会代表	
	生活介護ぽぽらす	秋山 敏之
	相談支援事業所連絡会代表	
	サンビレッジ障害者生活支援センター	篠塚 ユカリ
	こども連絡会代表	
	小牧市ふれあいの家 あさひ学園	御手洗 真由美

相談支援事業ハートランド小牧の杜	常富 昭良
サンフレンド障害者生活支援センター	中野 勝利
地域活動支援センター本庄プラザ	水谷 研司

(傍聴者) 1名

4 次第

- (1) 委嘱状交付
- (2) 自己紹介
- (3) 議事

平成28年度各連絡会等事業報告及び平成29年度事業計画について

- (4) 小牧市より

5 会議資料

次第

小牧市障害者自立支援協議会委員名簿

精神保健及び精神障害者福祉に関する一部を改正する法律案の概要

P 1 小牧市障害者自立支援協議会組織図

P 2・3 平成29年度小牧市障害者自立支援協議会 各連絡会事業計画

P 4 小牧市障害者自立支援協議会 日中活動系連絡会まとめ

P 5・6 平成29年度小牧市障害者自立支援協議会 事業予定(案)

P 7・8 小牧市障害者自立支援協議会設置要綱

P 9 小牧市相談支援事業所案内

6 議事内容

(事務局) 会を始める前に、この会は公開とさせていただき議事録は情報公開コーナー及び小牧市のホームページに掲載させていただきます。本日の傍聴人は1名です。また、ハートランド小牧の杜施設長、清水龍司様が欠席とご連絡をいただいております。まず、新委員の愛知県春日井保健所、角田玉青様、春日井公共職業安定所、川島さとみ様、小牧市健康福祉部長寿・障がい福祉課、山本格史様に委嘱状の交付をさせていただきます。それでは協議に移ります。手嶋会長よろしくお願いたします。

(手嶋会長) 皆さんこんにちは。今年度第1回目の協議会です。本日の議事は2点です。皆さんの忌憚のないご意見をよろしくお願いたします。議事に入る前に尾張北部圏域地域アドバイザーの綱川さんから情報提供をよろしくお願いし

ます。

(綱川アドバイザー) 皆さんこんにちは。私の方からは、国の動きとこの地域の動きについて2点、情報提供させていただきます。1点目、国の動きとしては、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部を改正する法律案の概要について資料をご覧ください。これは、昨年相模原市の知的障害者入所施設で起こった殺傷事件で、容疑者が措置入院の経験があったことから改正の議論がされているものです。2点目、この地域の動きとしては、小児在宅医療についてです。最近では、小児から高齢者までを一体として支援していく地域包括ケアという流れが国からも示されています。今年度は在宅医療の中でも特に小児に力を入れていきたいという動きがあります。春日井市には医師会が行っている在宅医療サポートセンターがあります。なかなか進んでいない小児の在宅医療の推進について、今後研修などを企画していく動きがあります。

(手嶋会長) 精神保健福祉法の改正によって、地域で新たに協議会を作っていく必要がでてくるかと思えます。県の自立支援協議会を支援してくださっていた角田さんが異動で春日井保健所に来てくださいました。またご意見をいただきたいと思えます。では、議事に入ります。平成28年度事業報告と平成29年度事業計画について、事務局と各連絡会代表から説明をお願いします。

(就労支援連絡会代表) (P2資料のとおり)

今年度は企業見学会を実施します。5/19を予定し準備を進めています。昨年度参加した障害者雇用推進セミナーの後、月に1~2件、企業からの問い合わせがあり、就業・生活支援センターようわとも連携し、3月に作業説明会を行いました。今後も企業からの問い合わせや雇用推進セミナーの参加について、春日市地域自立支援協議会はたらく部会と就業・生活支援センターようわと小牧市障害者自立支援協議会就労支援連絡会が連携し実施していくことになります。障害者が働く事業所ガイドブックについては、年に一度更新していきます。情報発信をして企業への就労移行、企業からの作業依頼や商品受注を増やしていきたいと考えています。加えて、就労事業所の就労形態の違いの中で、就労継続についての支援や障害者優先調達法の推進、またそれぞれの事業所の課題について、内容に応じて相談支援事業所連絡会やこども連絡会と連携して支援を進めていきたいと考えています。

また、日中活動系連絡会と合同で、特別支援学校との情報交換会を行っています。今年度も市内の卒業生を確認して進路先の確保ができるよう進めていきます。

(日中活動系連絡会代表) (P 2 資料のとおり)

昨年度はP 4にあります、各事業所の災害時のための備蓄品リストを作成しました。お互いの事業所の備蓄を確認することで有事の際の助け合いを目的としています。年度ごとに更新します。今年度は、作成したリストを活用できるものにするために各事業所の見学会を企画します。また、利用者のご家族の高齢化についても課題を感じています。介護保険の制度の理解を深めてよりよいサービスを提供できるように制度の研修会を行ってまいります。

(相談支援事業所連絡会代表) (P 2 資料のとおり)

昨年度は、相談支援専門員の質の向上を目標に、半田市社会福祉協議会から講師を招き事例検討会を行いました。今年度はこちらから半田市へ出向き、勉強させていただく予定です。小牧市の課題の吸い上げを念頭に置き、グループワークを行ってまいります。

(こども連絡会代表) (P 3 資料のとおり)

乳幼児・小学生・中高生に関する課題を年代ごとに検討しています。昨年度は県の地域療育支援事業と合同で事例検討会や研修会を行いました。保健センターで親御さんと一緒に作成している成長記録ノートを児童発達支援、放課後等デイサービスにも普及することに取り組みました。また、中高生の性に関する問題について事業所での困りごとが多かったため、研修会を開催しました。今年度は、引き続き年代ごとの課題についての検討を行ってまいります。その他には、発達障がいの疑似体験「キャラバン隊」やライフステージにおける切れ目のない支援作りについての研修会や、小児科医から助言などをいただける機会を作ることを考えています。また、今後小牧市の療育サポートについてのガイドや児童発達支援・放課後等デイサービスのガイドブックなどが作成できたらと考えています。

(事務局 連絡会以外の予定) (P 6 資料のとおり)

居宅介護・訪問看護・訪問リハビリ事業所との意見交換及び情報交換会を予定しています。また、毎年作成している障がい福祉サービス事業所一覧を作成し、12月頃に発行予定です。

(手嶋会長) ありがとうございます。平成30年度には大きな法改正があります。この29年度にしっかりと話し合いをしていかれると良いと思います。皆さま何かご意見やアドバイスがあればよろしくお願いします。今回の計画の中では、「精神障がい」「保健・医療」というキーワードがありません。このよ

うなことなど何かご意見がありましたら。春日井保健所の角田さんいかがでしょうか。

(角田委員) 今年度から春日井保健所へ参りました。皆様のご意見を持ち帰って保健所としてこの地域で何ができるか考えていきたいと思ひます。

(手嶋会長) 皆さん順番にご意見をお願いします。

(鵜野委員) 2点あります。1点目は防災関係についてです。特別支援学校でも関心を持っています。日中の災害時には本校130名の生徒に関して、地域からも助けをいただきたいと思ひます。小牧市がどのような防災を考えているかこのような会議の場で情報を得たいと思ひます。2点目はこども連絡会についてです。課題の幅がとても広いと思ひます。今後も会議に参加し情報交換し、地域に役立っていきたくて思ひます。

(手嶋会長) こども連絡会の事業計画の中に、学校の先生の参加をお願いしたいとありました。力強いご意見をありがとうございます。

(川島委員) 4月からハローワークに赴任しました。最近は、精神障がいのある方の求職が多く、発達障がいなど障害者手帳を取得するかのボーダーラインの方も多いです。今は他機関と連携しチームで就労支援に向けて取り組むことが掲げられていますが、現状はまだそこまで行っていません。これからよろしくをお願いします。

(手嶋会長) 就労支援連絡会では、優先調達に関することも取り上げられました。福祉分野だけでは企業の情報は少ないと思ひますので、ハローワークからも是非情報提供をお願いします。

(越後谷委員) 精神障害者手帳を持っている方も通院されていますが、進学や就職についての情報について、連絡会とも連絡を取らせていただきたいと思ひました。よろしくをお願いします。

(山本委員) 市の立場として、皆さんの意見を聞き一つでも施策に反映できるように取り組んでいきたいと思ひます。よろしくをお願いします。

(綱川アドバイザー) 就労支援連絡会について、春日井市の専門部会と協力し

で行ったことは他市町にはない取り組みです。相談支援事業所連絡会について、今後も事例検討会を行っていくことは素晴らしいと思います。相談支援専門員の役割は、ご本人に対してのケアマネジメントのみでなく、そこから見える地域課題を改善していくことも強く求められています。地域課題の共有のために相談員同士で事例検討をするということは有効な方法だと思いますのでバックアップしていきたいと思います。

(手嶋会長) スーパーバイズだけでなくソーシャルアクションとのアドバイスいただきました。市の自立支援協議会は他県の情報が少なくなってくると思いますので是非今後も情報提供をよろしくお願いします。

(谷委員) 相談支援事業所連絡会について、スーパーバイズできる相談員の養成とありますが、どんな職種の方を対象とするのですか。

(相談支援事業所連絡会代表) 障害福祉に関わる同じ立場の相談員同士を対象にしています。

(石原委員) 小牧市にも就労継続支援A型事業所がたくさんありますが、県の職員から、生産活動ができていない、就労時間が短い、賃金は作業収益からの支払いとすること、全事業は難しいが事業所の指導をしていると聞きました。また、児童デイサービスの厳格化や職員の資格要件についての情報を聞きました。30年度に向けてよろしくお願いします。

(手嶋会長) 就労支援連絡会の事業計画では就労継続支援A型とB型の形態についてのことや、問題に応じてこども連絡会と連携を取っていくとあります。A型への規制が厳しくなることや放課後等デイサービスでも何らかの変化がありますが、利用者の混乱や事業所側の問題の整理についてどうでしょうか。

(就労支援連絡会代表) 就労継続支援A型事業所・B型支援事業所それぞれの事業所の課題を出し合い、お互いに情報共有しながら整理していければと考えています。

(手嶋会長) 石原委員にご指摘いただいたように、制度が変わってくる中でさまざまな課題が出てきた時に、問題に応じて各連絡会と連携を取りながら問題を把握して次に繋げていくということでもよろしいでしょうか。事務局へ質問ですが、ご本人やご家族の立場では、例えば使えていたサービスが使えなくなる

ということは直近の不安だと思います。協議会は1年間の事業計画を立てていますが、変化がある時には臨機応変に検討していく形をご検討いただけないでしょうか。

(事務局) 直近の制度の改正についてもそうですし、利用者さんにどう返していくかということが一番大事だと思いますので、新しい情報がありましたら事務局へぶつけていただき、事業所向けの研修や市民向けのPRなど、柔軟に対応したいと思います。

(吉田会長) 民生委員からお知らせです。今年は、民生委員制度100周年記念講演会を予定しています。大阪府豊中市社会福協議会から講師を招きます。福祉関係者に一人でも多く聴いていただきたい講演ですのでよろしくお願いします。

(川崎委員) 福祉業界全般的に人材不足だと思います。事業計画にある研修は、現在働いている職員の育成に関するものだと思いますが、人材不足を何とかできないものかと思います。景気にも左右されます。国から処遇改善についての支給もありますが、直接処遇職員のみが対象です。特に看護師の処遇など不公平を感じています。小牧市が処遇改善の対象にならない部分を補っていただけると良いと思います。また、放課後等デイサービスや就労継続支援A型事業所についての報酬改定の見直しがあります。最近、コンサルタントが放課後等デイサービスではなく日中活動の事業所の経営を進める動きもあると聞いています。

(手嶋会長) 何かしようと思っても人材不足、法人の基礎体力が奪われつつあるという悲鳴にも聞こえました。また協力しながら進めていかれたらと思います。

(北澤委員) 人材不足については共感します。事業計画の継続性とそれに伴う関係者の連携をお互いが意識して前進して欲しいと思います。そうすれば良いものができてくると思います。

(手嶋会長) 貴重なご意見をありがとうございました。では次の議題に移ります。長寿・障がい福祉課からお願いします。

(小牧市長寿・障がい福祉課) 2点報告させていただきます。1点目です。昨

年4月に施行されました障害者差別解消法についてです。昨年度の自立支援協議会で、差別解消支援地域協議会の機能をこの会に持たせるということで承認をいただきました。これを受け、資料P7、小牧市障害者自立支援協議会設置要綱第2条(6)に追加させていただきましたのでご報告します。また、地域協議会の役割の一つとして、差別に関する相談事例の共有や協議があります。これについて、昨年度の小牧市における相談事例を報告します。件数は0件です。問い合わせが2件ありました。1件目は個人同士のトラブルです。差別というよりは人権問題と判断し、人権あんしん相談に結びました。2件目は他市からの行政間の照会でしたので、特に小牧市としての対応は必要ありませんでした。2点目は、P9、小牧市の相談支援事業所についてです。4月からサンビレッジ障害者支援センターが加わり、5事業所になりました。サンビレッジ障害者支援センターは、あいち清光会が小牧市岩崎に新たに整備した多機能施設内に設置した事業所です。委託先は4法人のままですが、事業所としては5事業所に増えましたのでご報告させていただきます。以上です。

(手嶋会長) 最後に全体を通してご意見があしりましたらお願いします。

(川崎委員) 地域協議会について何か構想があるのでしょうか。

(長寿・障がい福祉課) 地域協議会については前回の自立支援協議会でご報告しましたように、国が示している地域協議会の形は、さまざまな関係機関の集まりです。小牧市では、新たに地域協議会を立ち上げるのではなくこの自立支援協議会に機能を持たせるという考え方です。求められる機能は、小牧市が受けた相談事例の共有や協議です。今後もこの場で報告させていただきたいと考えています。

(手嶋会長) 他にご意見はありませんか。それでは本日の議題は全て終了しました。次回の日程についての連絡をお願いします。

(事務局) 次回は、10月13日(金)午後2時から、ふれあいセンター3階大会議室です。内容は、事業計画の中間報告を予定しています。ご意見をいただき、後期の計画に移っていきたいと考えています。よろしくをお願いします。

皆さま貴重なご意見を賜りありがとうございました。平成30年の法改正に向けてのことや、地域包括ケアシステムの構築についての話題がありました。この計画の中で実施していきますが、何かお気づきのことがありましたらご意見いただきますようよろしくをお願いします。最後に稲垣副会長から閉会の言葉

をお願いします。

(稲垣副会長) 皆さん長時間の審議とたくさんのご意見をいただきありがとうございます。閉会とさせていただきます。